

**渡良瀬遊水地エリア検討部会**

**アクションプランの改定について(案)**

**令和4年2月21日**

# 渡良瀬遊水地エリアの短期目標

第5回検討部会（平成30年9月開催）において検討された、渡良瀬遊水地エリアの短期目標（目標年2020年）は、以下の通りである。

種別	テーマ	目標
短期目標 （～2020年）	保全・再生	河川（渡良瀬遊水地を含む）では、治水と一体となった良好な湿地環境を保全・再生するための取組みが、農地では生物多様性を育む農法や基盤整備の取組み等がいっそう進められている。それにより、渡良瀬遊水地エリアのコウノトリ生息ポテンシャルが向上している。
	賢明な利用	河川（渡良瀬遊水地を含む）では、治水、利水と環境が一体となった河川整備（いわゆる”グリーンインフラ”）が、農地等では未利用地を自然環境として活用する取組みが進められている。また、地域農産物・特産品のブランド化やエコツーリズムなど、地域の自然・文化を資源として認識し、活用する取組みが始まっている。
	交流・学習	渡良瀬遊水地エリアの風土や歴史文化を踏まえた「トキやコウノトリ」も”舞う魅力的な地域”づくりの取組みに多くの市民が共感し、共に活動できる人や組織の輪が広がっているほか、交流学習等を推進する取組みが始まっている。

# 短期目標の取組み状況

短期目標で示した内容について、様々な取組みが実施されている。  
コウノトリの繁殖継続、コウノトリ“も”舞う魅力的な地域づくりに向け、各取組みの着実な継続が望まれる。

テーマ	目標	取組状況
保全・再生	河川（渡良瀬遊水地を含む）では、治水と一体となった良好な湿地環境を保全・再生するための取組みが進められている。	渡良瀬遊水地第2調節池で治水と環境の両機能の向上をねらいとした掘削が実施されている。 市民団体、自治体による水辺の植生管理により、コウノトリ採餌環境の確保が図られている。
	農地では生物多様性を育む農法や基盤整備の取組み等が進められている。	農水省国営事業や、農地の多面的機能支払交付金を活用し生物多様性を育む農業生産基盤を整備している団体（土地改良区）の活動が見られる。
	渡良瀬遊水地エリアのコウノトリ生息ポテンシャルが向上している。	コウノトリの採餌場所の確保が進められている。 （餌生物を増やす取組みに期待）
ワイズユース （賢明な利用）	河川（渡良瀬遊水地を含む）では、治水、利水と環境が一体となった河川整備（いわゆる“グリーンインフラ”）が進められている。	洪水調節や生活用水の補給といった役割を担う渡良瀬遊水地で湿地保全・再生の取組みが実施され、コウノトリの繁殖につながった。
	農地等では未利用地を自然環境として活用する取組みが進められている。	（田んぼダムなど、農地の多面的な活用が進められている。）
	地域農産物・特産品のブランド化やエコツーリズムなど、地域の自然・文化を資源として認識し、活用する取組みが始まっている。	「ラムサール」「コウノトリ」の名が冠された商品が開発・販売されている。 「エコネット拠点100」の選定により、地域の自然・文化の利活用が図られている。
交流・学習	渡良瀬遊水地エリアの風土や歴史文化を踏まえた「トキやコウノトリ”も”舞う魅力的な地域」づくりの取組みに多くの市民が共感し、共に活動できる人や組織の輪が広がっている。	「渡良瀬遊水地見守り隊」が結成されたほか、各自治体においてエコツアーガイドの養成が進められている。
	交流学習等を推進する取組みが始まっている。	「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」や「渡良瀬遊水地ハートランド城」といった交流・学習拠点の整備が進められている。

# 新たな取組みの目標(案)

関東エコネット・基本計画(案)で掲げられた目標や、これまでの検討部会で議論された内容をふまえて、渡良瀬遊水地エリアにおける新たな取組み目標を、テーマごとに、下表の通り設定する。

目標の種別	テーマ	目標
中期目標 (～2030年)	保全・再生	グリーンインフラの概念による流域治水の取り組みが主流化し、自立した各主体間のパートナーシップによるエコロジカル・ネットワークの形成が促進された結果、コウノトリの関東地域個体群が自活して繁殖・生息が可能となる湿地環境等の改善や創出が、堤外・堤内における関連主体の役割分担に応じ流域一体で進められ、河川と水田がつながることで多様な生きものが豊富に生息している。
	ワイズユース (賢明な利用)	自立した各主体間のパートナーシップによる、安全・安心な農産品や天然素材を利用した商品の流通や、エコネット拠点を巡るエコツアーの商品化など、エリアならではの数多くの地域資源を「WATARASE」「ラムサール」「コウノトリ・トキ」等の知名度を活かして、他とは異なる渡良瀬ブランドとして国内外に発信している。
	交流・学習	「保全・再生」や「ワイズユース(賢明な利用)」に関する取組に共感し、共に活動できる人や組織の輪の拡大・継続により、コウノトリ・トキと共にくらせる地域を誇りとし、地域経済および社会を構成する様々な主体の賑わいに基づいた、持続可能で魅力ある地域づくりが進められている。
到達目標 (～2050年)	コウノトリやトキが絶滅の危機から脱しているとともに、河川や農地等の水辺には、流域治水との調和の中で、多様な生物があふれる魅力的な空間が形成されている。 また、遊水機能を担う湿地や水田が地域防災に貢献するグリーンインフラの重要エリアとして評価される社会的気運の後押しを受け、渡良瀬遊水地エリア全体で流域治水と生態系ネットワーク形成が一体となった取組みが定着し、安全・安心の担保と自然空間を活かした賑わいのある地域づくりが進み、環境と経済と社会が調和した持続可能な社会が形成されている。	

# 中期目標達成に向けたプログラム・メニュー(案)

中期目標の達成のために必要となるプログラム・メニュー(案)について、以下の通り整理した。

## (1) 保全・再生について

- ①現状把握(基礎情報の収集・整理及び調査・評価手法マニュアルの作成)
- ②治水と一体化した生息環境整備(主に河川)(治水と一体化した生息環境づくり)
- ③生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)(生物多様性を育む農業基盤の整備および生物多様性を育む農業の実践など)
- ④流域一体での整備(餌場の多様性を高めるために流域一体となった水域連続性や湿地環境の保全・再生)
- ⑤営巢環境づくり(良好な樹林地の保全・育成、里山環境の保全・再生)

## (2) ワイズユース(賢明な利用)について

- ①生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)(「グリーンインフラ」を活かした利活用と両立した持続可能な生息環境づくり)
- ②コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援地域振興・経済活性化の推進支援(自然資源を活かした事業(ブランド化、エコツアーなど)の実施、地域の伝統文化や身近な自然とのふれあいの場の提供による観光の振興とそれを支えるエリアへのアクセス性およびエリア内の回遊性の確保)

## (3) 交流・学習について

- ①多様な主体参加の仕組みづくり(企業等との連携や多様な主体の参加を促すしくみづくりおよびPRの実践、指標種をシンボルとした地域振興・経済活性化方策の推進支援)
- ②プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり(取組みの担い手となる人材育成・環境教育の実施、取組みの継続・発展に向けたしかけづくり)生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)(「グリーンインフラ」を活かした利活用と両立した持続可能な生息環境づくり)

# 「保全・再生」に関するプログラム・メニュー(案)

渡良瀬遊水地エリアにおけるエコロジカル・ネットワークの形成に向けて必要と考えられる「プログラム・メニュー(案)」に対し役割分担(案)について整理したものが下記の通りである。

## 「保全・再生」に関するプログラム・メニュー(案)

2030年に向けた目標(案)	プログラム・メニュー(案)	役割分担(案)						
		国 交 省	農 水 省	環 境 省	県	市町	教育・ 福祉関 係	民間 団体
自立した各主体間のパートナーシップによる、エリア一体となった湿地環境の整備・保全	(1)①現状把握	●						
	(1)②治水と一体化した生息環境整備 (主に河川区域)	●	●		●	●	○	○
	(1)③生物多様性の豊かな生息環境整備 (主に堤内地)		●		●	●	○	○
	(1)④流域一体での整備	●	●	○	●	●	○	○
	(1)⑤営巢環境づくり	○		○	●	●		
プログラムの推進		●	●	○	●	●	○	○

●…中心的主体  
○…協力的主体

「教育・福祉関係」には、大学や学識者を含む

# 「賢明な利用」、「交流・学習」に関するプログラム・メニュー(案)

渡良瀬遊水地エリアにおけるエコロジカル・ネットワークの形成に向けて必要と考えられる「プログラム・メニュー(案)」に対し役割分担(案)について整理したものが下記の通りである。

## 「賢明な利用」、「交流・学習」に関するプログラム・メニュー(案)

2030年に向けた目標(案)	プログラム・メニュー(案)	役割分担(案)						
		国 交 省	農 水 省	環 境 省	県	市町	教育・福 祉関係	民間 団体
商品販売やエコネット拠点を巡るツアーの実施など、エリアならではの数多くの地域資源を「WATARASE」「ラムサール」「コウノトリ・トキ」等の知名度を活かして、他とは異なる渡良瀬ブランドとして国内外に発信	(2)①生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)		●		●	●	○	○
	(2)②コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援	○	○	○	●	●	○	○
プログラムの推進		○	●	○	●	●	○	○
次世代(環境と経済と社会が調和した持続可能な社会)を担う人材が持続的に輩出される体制の整備	(3)①多様な主体参加の仕組みづくり	○	○	○	●	●	●	○
	(3)②プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり	○	○	●	○	●	○	●
プログラムの推進		○	●	●	●	●	●	●

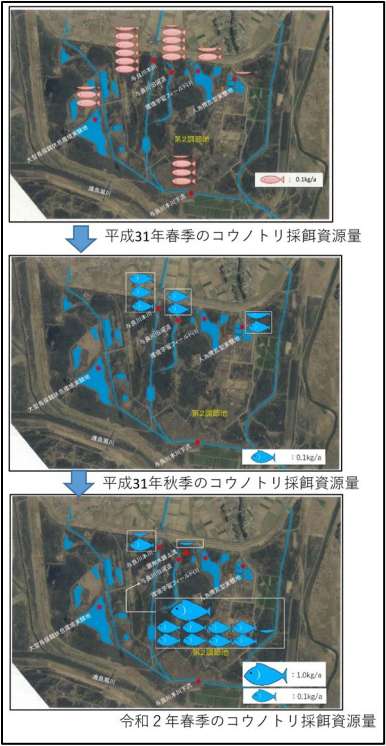
●…中心的主体  
○…協力的主体

「教育・福祉関係」には、大学や学識者を含む

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(1)① 現状把握

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(1)① 現状把握	渡良瀬遊水地エリアにおける基礎情報の収集・整理	エリア全体	国交省 県、市町 市民団体	農水省 環境省 学識者
	調査・評価手法マニュアルの活用方法		学識者	国 県 市、町



コウノトリ餌資源量調査結果のとりまとめ(国土交通省)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(1)② 治水と一体化した生息環境整備(主に河川区域)

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(1)② 治水と一体化した生息環境整備 (主に河川区域)	河川区域における多様な湿地環境の創出	河川	国交省 県	
	多様な主体が活用できるビオトープの整備		国交省 県、市町	教育・福祉関係 民間団体
	河川工事に組み込める生物多様性に配慮したプログラムの検討			民間団体 学識者
	河川の落差解消に向けた魚道等の整備			教育・福祉関係 民間団体
	樋管の落差解消に向けた魚道等の整備			
	河川及び農地における水辺環境の改善・創出	エリア全体		



掘削による湿地環境整備  
(国土交通省)



水辺の楽校(古河市)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(1)③ 生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(1)③ 生物多様性の豊かな生息環境整備 (主に堤内地)	農業に関する既存計画・事業を踏襲した共通方針の検討	農地	農水省 県、市町	
	農業用排水路内の落差の解消			民間団体
	農業用排水路のエコトーンの再生			
	農業用排水路環境の改善		県、市町	農水省 民間団体
	水田内における生きものの退避場所の設置			



水田内における生きものの退避溝(江)の設置(小山市)



落差のない排水路整備(農林水産省)

# 具体的実践項目(案)

プログラム・メニュー(1)④ 流域一体での整備

プログラム・メニュー(1)⑤ 営巣環境づくり

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(1)④ 流域一体での整備	多様な主体の連携・協働によるモニタリング調査および維持管理作業の実施	河川・農地	国交省 県、市町	農水省 環境省 教育・福祉関係 民間団体
	堤内地における良好な水辺環境の保全・再生・創出		農水省 県、市町	学識者 民間団体
	河川区域および堤内地における個別取組みの統合化		国交省 農水省 県、市町	学識者
(1)⑤ 営巣環境づくり	条例・制度等を活用した斜面林の保全	樹林地	県、市町	環境省



ヨシ刈り作業(小山市)



水田のビオトープとしての活用(板倉町)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(2)① 生物多様性の豊かな生息環境整備(主に堤内地)

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(2)① 生物多様性の豊かな 生息環境整備 (主に堤内地)	ブランド米が高値でも売れることに魅力を感じた農業者による、生物多様性を育む農業の一層の拡大と継続	農地	県、市町	農水省
	活動拠点となるモデル地区の整備(水田・湿地・ビオトープ等)	エリア全体	県、市町	国交省 農水省 環境省 教育・福祉関係 民間団体



薬剤を用いない除草管理  
(加須市)



活動拠点「稲宮の里山」  
(古河市)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(2)② コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(2)②コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援	ブランド品の全国展開および海外への販路開拓、ブランド名の定着促進	エリア全体	県、市町	農水省
	渡良瀬遊水地エリア(自然・歴史・コウノトリ等)に関する観光プロモーションの実施(イベント開催・出展、情報発信等)		県、市町 学識者	国交省 農水省 環境省
	エコツーリズム・グリーンツーリズムのマニュアル作成および普及・啓発		県、市町 民間団体	国交省 農水省 環境省
	渡良瀬遊水地「観光圏」として周知PR・情報発信の実施			教育・福祉関係 学識者



ラムサールふゆみずたんぼ米  
(小山市)



渡良瀬遊水地エリアエコネット拠点の選定と広報(国土交通省)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(2)② コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(2)②コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援	渡良瀬遊水地エリアの多様な生物・特産物等をシンボルとした商品開発の支援(有効事例の収集・発信、民間の助成情報の紹介補助金・基金・助成事業化 等)	エリア全体	県、市町 民間団体	国交省 農水省 環境省 教育・福祉関係 学識者
	渡良瀬遊水地エリアやエリア内の多様な生物(コウノトリ等)をモチーフとした共通ロゴマーク・キャラクターの検討(デザイン公募等)		市町	
	共通ロゴマーク・キャラクターを活用した各種サイン等の整備・利用		県、市町	国交省 農水省 環境省 教育・福祉関係 民間団体



コウノトリコーヒーパック  
(栃木市)



渡良瀬遊水地ロゴマーク  
(渡良瀬遊水地保全・利活用協議会)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(3)① 多様な主体参加の仕組みづくり

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(3)①多様な主体参加の仕組みづくり	コウノトリやトキと共に暮らす地域学習プログラムの実施	エリア全体	県、市町 教育・福祉関係 民間団体 学識者	農水省 環境省
	誰もが活動しやすい・参加しやすい仕組みの検討および担い手が継続的に輩出されるしくみの確立		県、市町 教育・福祉関係	国交省 農水省 環境省 民間団体 学識者



渡良瀬遊水地学習ブック(小山市)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(3)① 多様な主体参加の仕組みづくり

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(3)①多様な主体参加の仕組みづくり	多様な主体の活動意欲・参加意欲を高めるしかけの検討(支援・補助・助成対策、地域ブランド等の価値形成、取組み広報等)	エリア全体	県、市町 教育・福祉関係	国交省 農水省 環境省 民間団体 学識者
	多様な主体の参加・協力・支援を得るためのアイデアの収集と活用			
	情報の共有・発信の実行(インターネット、紙媒体等)			



自然にわくわく(結城市)



講演会・シンポジウムの開催  
(民間団体)

# 具体的実践項目(案)

## プログラム・メニュー(3)② プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり

プログラム・メニュー (案)	渡良瀬遊水地エリアでの具体的実践項目(案)			
	何を	どこで	誰が	
			① 実施主体	② 調整・支援主体
(3)② プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり	民間活動を促進する具体の支援策の検討 (支援・補助・助成対策、地域ブランド等の価値形成、活動の広報 等)	エリア全体	市町	国交省 農水省 環境省 県 教育・福祉関係
	コウノトリ目撃情報の収集と活用(見守り体制づくり)		市町 市民団体	国交省 教育・福祉関係 民間団体
	関連施策に資する活動を担う組織づくり(枠組み、運営体制の検討 等)			県 学識者
	各施策に関わる活動資金(環境の保全・改正・維持管理、イベント開催、広報等)のための基金設立			環境省 県



体験活動センターわたらせ  
(民間団体)



渡良瀬遊水地コウノトリ見守り隊

# 今後の進め方

次期アクションプラン策定に向けた今後の進め方(案)を、以下の通り整理した。

